ＪＲ九州労組
業務速報
２０２３年
３月１６日
No.１０２５
九州旅客鉄道労働組合
業　務　部
発行責任者　芦原秀己
編集責任者　住吉一家

２０２３春季生活闘争要求の実現を求める
３・１６中央総決起集会

本日、中央本部は「２０２３春季生活闘争要求の実現を求める３・１６中央総決起集会」を開催し、要求実現を求めて最後まで闘い抜く決意を参加者全員で改めて意思統一した。

集会では「２０２３春闘スローガン」「２０２３春闘ポスター」の最優秀作品（ＪＲ九州労組ニュース No41 参照）の紹介・表彰を行うとともに、参加者を代表して筑豊支部、大分地本から「満額回答を獲得するべく最後まで闘い抜け！」と檄が飛ばされ、最後は、組合員・家族が一丸となって闘い抜く決意を確認し、芦原秀己中央執行委員長の団結ガンバローで気勢を上げた。

2023 春季生活闘争要求の実現を求める３・１６中央総決起集会

９，２８１筆の署名を会社に提出
組合員・家族の想いに応えうる回答を求める

集会後には、芦原秀己中央執行委員長をはじめ、中央本部三役及び各地本・支部委員長が会社に出向き、組合員・家族の想いが詰まった 9,281 筆の署名を提出した。

芦原中央執行委員長は、「コロナ禍からの業績回復・反転攻勢を支えるのは人であり、組合員と家族の生活に寄り添うべきである。署名に込められた思いを受け止め、誠意ある対応を要請する」と会社の英断を迫った。

これに対して会社は、「組合員・家族の気持ちは真摯に受け止める。出来る限りの回答ができるよう検討していきたい」と述べるに留まった。

その後も、賃上げに対して慎重な姿勢を崩さない会社との溝は埋まらず、本日は協議を中断し、明日の早朝より再開することとした。

繋ごう絆　踏み出そう一歩　未来を変えよう　２０２３春闘勝利！